

## 《Lesson 4》 be 動詞の疑問文

【be 動詞の疑問文：基本的な形】

be 動詞 + 主語 + ○○?

「主語は○○ですか」

<例>

- (1) あなたは学生ですか? → Are you a student?  
(2) 彼は英語の先生ですか? → Is he an English teacher?  
(3) 私はあなたのクラスにいるのですか? → Am I in your class?

【be 動詞の疑問文の作り方】

ステップ①：be 動詞の「肯定文」を作る。

ステップ②：be 動詞を文頭に持ってきて、最後を?に変える。

<例1> 「あなたは学生ですか?」という文の場合

ステップ①：be 動詞の「肯定文」を作る。

→ あなたは学生です。

                      
You are a student.

ステップ②：be 動詞の後に not を足す。

                      
Are you a student?

<例2> 「彼は英語の先生ですか?」という文の場合

ステップ①：be 動詞の「肯定文」を作る。

→ 彼は英語の先生です。

                      
He is an English teacher.

ステップ②：be 動詞の後に not を足す。

                      
Is he an English teacher?

### 【be 動詞の疑問文：答え方】

答え方は、基本的に Yes / No の 2 種類。

Yes,       \*代名詞             be 動詞       .

\*この「代名詞」とは、I / you / we / they / he / she / it 。

No,       \*代名詞             be 動詞             not       .

am 以外は be 動詞 + not の短縮形 (aren't / isn't) を使うのが一般的。

<例 1> Are you a student?

はい → Yes, \*I am.

いいえ → No, \*I am not.

\* Are you ~? (あなたは~?) という疑問文では、答える時に I (私は) を使うので注意。  
この質問をされている状況を想像するのが大事。

<例 2> Is he an English teacher?

はい → Yes, he is.

いいえ → No, he isn't. (No, he is not.)

本ファイルの著作権は、著作者である藤井拓哉に帰属します。本ファイルを利用したことによる直接あるいは間接的な損害に関して、著作者はいっさい責任を負いかねます。利用は利用者個人の責任において行ってください。